



計算機能について

10 . 強制変位による解析が可能

節点に強制変位を与えた解析が可能です。強制変位は節点の持っている座標系の6自由度（X,Y,Z 方向変位と、X,Y,Z 軸回り回転角）で設定可能です。基礎の不動沈下等の応力解析に利用できます。

強制変位は、定義した荷重ケース毎に考慮の「する・しない」を設定できます。他の外力と組み合わせたり、強制変位のための解析も可能です。

強制変位を設定された節点は、設定値分移動した場所で固定され 解析されます。強制変位以外の外力によるその節点への作用は、固定された成分の支点反力の増減として現れます。強制変位による変形量が増減するようにはなりません。）